

企画展 収蔵庫大公開

—モザイクタイルの過去・現在・未来—



(貼板に入れたモザイクタイル)

本館が生まれる以前、ここ笠原町には、笠原町商工会・地場産業振興委員会を端緒として、タイル業界の有志が熱意をかけて収集したモザイクタイルを展示する「モザイク浪漫館」がありました。館内には各地から集まってきたモザイクタイルが所狭しと並び、まさにタイルの宝庫と言えるような場所でした。本館はこのような思いの詰まった収集品を基盤として誕生し、今に至っています。

ここにはいったいどんなモザイクタイルが眠っているのか。長い時間をかけ、心を込めて集められてきたタイルたちを来館者の皆様に間近で鑑賞いただき、自由に感じてもらい、少しでもその魅力を届けることができれば何よりです。

またそれはタイルの歴史を考えると不可分な作業にもなります。過去を見つめ、今の在り方を見直し、未来へ繋げていく。そのような趣旨から、現在活躍中の各企業の方々にも今を表すモザイクタイルを展示していただき、さらにはタイルについて思う存分語っていただくギャラリートークを開催します。それぞれの企業が展示物を目の前にモザイクタイルの歴史や秘話、自社の取り組みやこだわり、そして未来への展望など、タイルの魅力と奥深さを語り、来館者の方々と対話することができる機会となれば幸いです。

主催 多治見市モザイクタイルミュージアム
協力 株式会社オザワモザイクワークス、株式会社カネキ製陶所、杉浦製陶株式会社、鈴製陶株式会社、株式会社セラメッセ、株式会社谷口製陶所、長江陶業株式会社、名古屋モザイク工業株式会社、久松製陶株式会社、有限会社丸万商会



(戦前のマジョリカタイル等)

◎見どころ

- ①ミュージアム史上かつてない量の収蔵品を公開いたします。明治からおおよそ平成にかけて、当館が収集したタイルを一望することができます。
- ②タイルは本来ある程度の面積で、面として見ることを前提に作られています。幅10メートルに及ぶ展示台に約250枚のタイルパネルと貼板に入れたモザイクタイルが並びます。
- ③展示台の右端部分には現在の企業に協力を依頼し、10社から「今」を表すタイルを展示していただきます。過去のタイルと現代のタイルはどのような違いや同一性があるのか。自由に比較していただければ幸いです。
- ④モノの展示のみにとどまらず、9社の企業のトップにお話を伺うギャラリートークを行います。モノを目の前にし、各企業がタイルについてどう考えているのか。それらを聞くことによる展示への理解の増進やタイルの面白さの発見など、展示の一部として現代企業の「語り」を位置付けます。

会期：2024年2月3日(土)～2024年5月26日(日)

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)、2024年12月29日～2025年1月3日

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

会場 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

観覧料 一般310円、団体250円(常設展観覧料でご覧いただけます)

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い1名様無料

※2024年1月23日(火)～2月2日(金)、3階展示室を閉室します。

■関連企画 (3月下旬～5月下旬まで定期的に開催)



(貼板に入れたモザイクタイル)

ギャラリートーク「今こそ語ろうモザイクタイル」
—現代タイルの担い手たちは何を考えているのか—
本展示にご協力いただいた企業の方々のトップにお話を伺うギャラリートークを行います。1社1回、計9回に及ぶリレー形式を予定しております。本館学芸員が聞き手となり、タイルにまつわる幅広い話題を熱く語っていただきます。その他詳細については順次ホームページにて告知します

※2月2日(金) 10時30分～11時30分 プレス向け内覧会を開催！

会場 モザイクタイルミュージアム3階

ご希望の方は、別紙要領によりFAX、メール等にてお申し込みください。

お問合せ先 多治見市モザイクタイルミュージアム

企画担当 清水、岩井

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5 電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

URL: <http://mosaictile-museum.jp> /Email: info@mosaictile-museum.jp